

整理番号	15-6	事務事業名	自治連合会補助事業		作成部署	市民環境部 市民生活課	電話	内線716
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	武田 隆	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H10年度	根拠法令等	北広島市補助金等交付規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	自治連合会を充実、活性化することにより、生きがいのある明るく住みよいまちづくりの推進を図るとともに、地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動や市が行う各種調査等の連絡調整などが円滑に行われることを目的として。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	いきいきとした交流と連携のまち	(第 3 章)
	節	コミュニティ	(第 1 節)
	施策	自治会活動の促進	(第 2 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市内11連合自治会(町内会・自治会)	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	市内11連合自治会(町内会)の代表者で構成する団体で、各地域の実情を踏まえた情報交換、市との連絡調整などを行い、まちづくりに対する意見や協議を行える団体とする。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	連合自治会で共通のテーマにそって講師を招き、情報交換会の開催及び視察研修を実施した。(自主防災システムの確立)また、緊急時の対応について、警察等との連絡体制を確立させる。
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	75	75	75	75
	合計	75	75	75	75
人件費(概算)	人数(年間)	0.05	0.05	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	450	450	450	450
総事業費 +	525	525	525	525	

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標(事務事業の活動量や実績)	視察研修	1回	1回	1回	1回
	情報交換会	2回	2回	2回	2回
成果指標(目的の達成度を測るものさし)	視察研修	参加人数 22人	参加人数 22人	参加人数 22人	参加人数 22人
	情報交換会	参加人数 11人 (1回当りの参加人数)	参加人数 11人	参加人数 11人	参加人数 11人
効率指標(主要活動単位当たりコスト)					

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	地域の実情を踏まえ各地区連合自治会と行政が協力していくうえで、不可欠な組織なので現状維持と考える。
---------------------------------	---

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	現在、事務局が市役所にあるが、将来的には自治連合会自身で運営して行くことが望ましいと思われる。	事務局を会長が所属する地区連合自治会に置くか、あるいは事務局に非常勤の事務員を配置する等検討が必要であるが、予算措置が必要となる。
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	市との連絡調整等を円滑に進める上で、自治連合会への補助は適当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	連合自治会が未組織の自治会に対する加入促進を図る必要がある。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	情報交換会、視察研修を実施することにより、11連合自治会のよりよいまちづくりの推進を図っている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	コスト的には、改善の余地は少ない。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	市内11連合自治会を統括する組織であり、各連合自治会の実情を踏まえ、行政との連絡調整をはかり、まちづくりに対する意見や協議を行える団体として活動を充実させていくためには現状維持とする。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	補助団体への事務局移管や事業費補助への転換を進めること。また、連合町内会に未加入の町内会があることから、今後全市的な連合会づくりに向けて調査・検討する。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	15-6
------	------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	自治連合会補助事業		
交付先の名称及び代表者名	北広島市自治連合会 会長 大川壽雄	設立年	平成10年
構成員(団体)数	22人(11団体) (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	市民と行政が互いにパートナーとしての協体制を確立するため、各地区の連合自治会が協力し地域の情報交換や行政との連絡調整を行い市民参加のまちづくりの推進など、生きがいのある明るくすまよいまちづくりの推進を目的に活動する。		
交付先団体等の活動内容	(1)厚別区民まつりへの参加 (2)札幌市民防災センター及びアサヒビール園見学 (3)情報交換会及び市長との交流会		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	75	75	75	
	その他(研修負担金)	24	25		
	繰越金	6	9	38	
	収入合計(B)	105	109	113	
支 出	研修費	73	52	75	
	旅費	5	0	5	
	会議費	6	6	6	
	役務費	5	5	15	
	事務費	7	8	10	
	その他(予備費)			2	
	支出合計(C)	96	71	113	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	9	38	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		78 %	106 %	66 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	すべての経費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		96	71	113	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		78 %	106 %	66 %	
補助・交付金の算出根拠	定額補助				